

(共同リリース)  
報道関係者各位

令和5年9月13日  
札幌学院大学  
北海道木古内町

## 道南初！

# 札幌学院大学、北海道木古内町、包括的連携協定を締結

～木古内町を拠点とした道南地域における教育、まちづくりの発展と人材育成を推進～

札幌学院大学（北海道江別市、学長：河西 邦人、以下「札幌学院大学」）と北海道木古内町（町長：鈴木慎也、以下「木古内町」）は、木古内町の地域振興の発展や人材育成、並びに両者の資源を効果的に活用することによる教育研究の発展と教育の推進、これからの社会で活躍する人材の育成などを目的に包括的な連携協定（以下「本提携」）を締結いたしました。

本提携において、木古内町は、札幌学院大学が掲げる『自らの職業と人生を切り拓ける、豊かな人間性と個性を持ち、社会を担っていく人材を育成する』という教育目標と『学生の主体性と問題解決力を伸ばす「自律」、学生個人の多様な特性を大切に「人権」、多様な市民や組織と共に地域社会を担う「共生」、教育目標実現のために教職員・学生・市民等と協力して活動をする「協働」』の教育理念に基づき、両者のもつ資源や教育ノウハウを活かし、地域の活性化並びに発展を推進するとともに、大学ゼミ活動によるフィールドワークを通じたまちづくり政策の提言や町のインターンシップ受け入れ、町内在住の高校生向けの「首長推薦入試制度」の導入の検討などを通じて、将来の社会で活躍する人材育成や大学への入学機会の創出などを行ってまいります。

※なお、札幌学院大学と自治体との連携協定締結は道南では初の取組みとなります。

### 1. 本提携の背景

現在、木古内町は人口減少による少子化、高齢化が進み、高齢化率も50%を超えています。しかし、木古内町はかねてより道南地域における交通の要衝と言われているとおり、北海道新幹線「木古内駅」や高規格道路「木古内IC」などがあり、また道の駅は4年連続ランキング1位（北海道じゃらん）を獲得するなど、町が持つポテンシャルは高いと考えています。また、町の約90%が森林であることや津軽海峡に面していることから、山や海などの自然資源が豊富な町でもあります。さらには、縄文文化とそれに続くアイヌ文化の歴史、北海道開拓後に形成された伝統的なお祭りや行事などもあります。このため、こうした豊かな資源を活かしたまちづくりや人づくりを推進し、活性化を図るためには、町内のみならず、大学や高等教育機関との連携によるまちづくりや人づくり、大学が持ち合わせている研究資源や人材を活用することも効果的な取り組みであると考え、本協定を締結することとなりました。

## 2. 提携の内容

- (1) 教育・文化・スポーツの発展と振興に関すること
- (2) 探究学習の充実・発展に関すること
- (3) 未来を創る人材育成・循環に関すること
- (4) 地域コミュニティの発展に関すること
- (5) 産業振興に関すること
- (6) 学術研究に関すること
- (7) その他、本協定の目的を達成するために必要と認める事項に関すること

### 【調印式概要】

1. 日時：2023年9月20日（水）15時00分～
2. 場所：木古内町役場 3階 第一研修室
3. 住所：〒049-0422 北海道上磯郡木古内町字本町 218 番地
4. 出席者

札幌学院大学	木古内町
<ul style="list-style-type: none"> <li>・札幌学院大学 学長 河西 邦人</li> <li>・札幌学院大学 副学長・社会連携センター長 渡邊 慎哉</li> <li>・札幌学院大学 社会連携課長 松本 賢彦</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木古内町長 鈴木 慎也</li> <li>・木古内町副町長 羽沢 裕一</li> <li>・木古内町教育委員会 教育長 藤澤 義博</li> </ul>

## 5. タイムスケジュール

- 14:45 プレス受付
- 15:00 開式
- 15:05 包括連携協定趣旨説明
- 15:15 調印
- 15:20 両代表挨拶
- 15:30 質疑応答
- 15:45 記念撮影
- 16:00 学長記念講演会

本プレスリリースに関するお問い合わせ先	
札幌学院大学	北海道木古内町
社会連携課 松本 TEL：011-386-8111	木古内町教育委員会 生涯学習課 加藤・敦澤 TEL：01392-2-2224